

## 親子で『暑中見舞はがき』を作ってみませんか！

しとしと雨に濡れる紫陽花の葉っぱの上でカタツムリが一匹、満足げに触角を伸ばしているのを見つけました。

暑さの本番は、いよいよこれからですね。



最近めっきり少なくなった手書きの、季節の挨拶状は、相手にほっこりした温もりを伝えるもの。

そういうメリットを子どもたちにもしっかりと伝え、今年と一緒に暑中見舞を書いてみてはどうでしょう。

幼稚園や保育園の先生、大好きなおじいちゃん、おばあちゃん、そしてお友達にも。

字の書けない子は、絵を描いたり手製の野菜スタンプを押したり・・・

大人が一筆添える共同作業をすることで、一緒に返事を待つワクワク感も共有出来そうですね。

### ☆家にある野菜でスタンプを！

夏野菜の代表格ピーマンは、輪切りにして中身を取り出すだけでスタンプに早変わり！好きな色の絵の具を付けてペタペタ。

そのものの形が何ともユニークです。

輪切りにしたトウモロコシも思わぬ効果が出せるかも！



### ☆基本的なマナー

一年で最も暑い季節に「相手の体調を気遣う」ことが暑中見舞の意味。一般的に、梅雨が明けてから送るのが一つの目安であり、小暑から立秋までの「暑中」に出すのが原則です。

立秋を過ぎた場合は、その時期が酷暑であっても「残暑お見舞い」として出しましょう。